

2022年秋年末闘争・組織拡大

CTGの建交労道本部闘争速報

2022年10月4日/第2号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL011-711-7377
FAX011-711-7388
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

建交労北海道本部第23回定期大会

強くあたたかい 労働組合運動を展開しよう

10月2～3日、建交労北海道本部の第23回定期大会を北広島市で開催しました。大会には代議員・道本部役員など39人（オンライン参加ふくむ）が参加し、2022年度運動方針などを満場一致で可決・決定しました。

道本部の森国委員長は「岸田内閣は統一協会や安倍元首相の『国葬』強行などで支持率を低下させている。労働者・国民のための政治を取り戻すために奮闘しよう。物価の上昇で実質賃金が低下しているが、建交労のたたかいでトンネルじん肺根絶訴訟と基金実現のとりくみを前進させ、ダンプの使用促進で単価の改善を実現してきた。職場での春闘・一時金闘争や学童保育の要求でも成果をかちとっている。組織を拡大し、来年の統一地方選挙で政治を変えるためがんばろう」とあいさつしました。来賓の道労連・中川事務局長と中央本部の廣瀬書記長から激励のあいさつを受けたあと、宮澤書記長が議案を提案して2日間で7人の代議員が発言しました。

討論では、函館支部・鈴木代議員が社会復帰事業団のとりくみ、青年部活動、公共工事の現場調査などについて報告しました。鉄道本部の最上代議員と加藤代議員は21年ぶりにベースアップを獲得した春闘や鉄路を残すためのとりくみについて発言し、札幌学童保育支部の石井代議員が指導員の70歳までの雇用確保について報告しました。北空知支部の小松代議員は地域での建交労の果たす役割を強調しました。また、釧路支部の村田代議員と大井代議員から組織問題についての質問が出され道本部の森国委員長が答弁しました。

宮澤書記長は討論のまとめで「全道の仲間がどんな課題についても団結を固めて、強くあたたかい労働組合運動をつくりあげよう」と呼びかけました。大会では森国委員長をはじめとする新年度役員を選出しました。

北海道鉄道本部がパークゴルフ交流会

北海道鉄道本部は、雲ひとつない晴天に恵まれた9月27日に三笠市で恒例の「パークゴルフ交流会」を15名の参加でおこない、プレー後には「太古の湯」で汗を流しました。新型コロナウイルス感染症が広がる前には温泉地で開催していた観楓会と同時期におこなっていましたが、観楓会は組合員の安全と家族の心配を考慮して3年連続の中止とし、パークゴルフについては自然の中で密を避けておこなえることから実施しました。優勝はスコア102打の苗穂支部・最上さん、準優勝には旭川から参加した江口さんが続きました。ブービー賞は道本部の檜山さん、ラッキーナンバー賞には岩見沢・菊田さんと滝川・佐藤さんが受賞しました。岩見沢支部・菊田さんはホールインワン賞と抽選会で「ファミリーパーティー賞」（金一封）にも当選しました。春に計画したパークゴルフ交流会が悪天候のために当日キャンセルとなったこともあって、交流会に参加した仲間から「天気も最高で、仲間とも会えた。とっても良い一日を楽しめた」「景品もたくさん用意され、開催してくれて有難い」「仲間との触れ合いで元気になれる」と喜びの声が寄せられました。次年度も「春と秋」の開催を予定しています。